

## 第 49 回 物療校友会学術部放射線部会勉強会 報告書

日時：平成 30 年 6 月 16 日(土) 18 時 30 分～20 時 30 分

場所：大阪市立阿倍野市民学習センター 第 2 研修室

報告者：大阪警察病院 泉 夏彦

### プログラム

1. 『疾患の好発部位を念頭において撮影すると一般撮影はこんなに楽しい&腰椎立位 PA 半切撮影』

育和会記念病院 湯山 浩 先生

2. 『膝 OA から人工関節(TKA)撮影について』

奈良県立医科大学附属病院 安藤 英次 先生

### 【報告事項】

平素よりお世話になっております。物療校友会学術部放射線部会勉強会 幹事の泉夏彦です。この度、第 49 回物療校友会学術部放射線部会勉強会を開催致しましたので、ご報告させていただきます。

前回より物療学園卒業生以外の方でも参加ができるように間口を広げ、より多くの活発な意見や質問を交わし、充実した勉強会となるよう試みました。今回のプログラムは新人さんや若手の方を対象にした内容でしたので、約30名程度の非常に年齢層の若い方々が参加されていました。

プログラム1では、育和会記念病院の湯山浩先生に『疾患の好発部位を念頭において撮影すると一般撮影はこんなに楽しい&腰椎立位 PA 半切撮影』というタイトルでご講演いただきました。基本的な一般撮影の方法に加え、疾患名及び専門用語の意味や内容を理解することで、依頼医が何に焦点を当てているか？何を求めているか？何を疑って何を診たいのか？という考えや思いに対し、私たち診療放射線技師は撮影した写真に多くの情報とメッセージを乗せることが可能になり、それが患者さんの治療方針や笑顔へと繋がるという内容を熱心にご教授頂きました。質疑応答では、会場からも多くの質問があり、大いに盛り上がり、とても勉強になったご講演でした。

プログラム2では奈良県立医科大学附属病院の安藤英次先生より『膝OAから人工膝関節(TKA)撮影について』という内容でご講演いただきました。

膝の解剖、人工関節の基礎知識から撮影技術まで、私たち診療放射線技師が知っておきたい“求められる画像”について、実際のインプラントを用いながら、丁寧にわかりやすくご教授頂きました。また、その内容は明日から自施設にて取り組める内容ばかりで、活用していきたいと思いま

した。今後、臥位による撮影よりも立位による荷重撮影が主となり、より患者さんが普段の生活通りの姿勢を撮影の際に再現することで、人工関節の選択肢を広げることに繋がることを強くお話しされました。



育和会記念病院 湯山 浩 先生



奈良県立医科大学付属病院 安藤 英次 先生

勉強会終了後の親睦会には、約半数の方が参加してください、さらに活発な意見交換が行われていました。今後の勉強会もさらに充実した内容になるように幹事共々取り組んでいきたいと思えます。

次回の勉強会の詳細は決まり次第、物療校友会ホームページに更新致しますのでご確認お願いいたします。今後もたくさんのご参加をお待ちしております。

作成日：平成30年7月2日